

ロタウイルスを原因とする地域流行について

例年、1月から4月にかけてロタウイルスを原因とする急性下痢症が流行します。感染症情報センターでは、第18の週報で“春のこどもの感染症に ご注意”と題してロタウイルス感染症についての注意喚起を行ってきました。

今回は、郡山保健所管内の3箇所の保育所でロタウイルスが原因と考えられる地域流行が発生したので概要を報告します。確認されている患者数は合わせて49名、最多発症年齢は0歳から1歳児、症状は下痢、嘔吐、発熱です。患者の一部は、医療機関の受診時検査でロタウイルス陽性の診断を受けています。現在、保健環境研究センターでは、患者便から遺伝子検査による確認検査とウイルス型種解析を行っており、一部の患者便からロタウイルス遺伝子を検出しております。

	発症者数	開始日	ピーク
A 保育所	24名(職員1名を含む)	5/6	5/10-12
B 保育所	11名	5/11	5/11
C 保育所	14名	5/7	5/10-14

ロタウイルス感染症



ロタウイルス感染症の特徴

- ・ 1月から4・5月にかけて主に流行
- ・ 生後6ヶ月から2歳に多く見られ、5歳までにはほとんどの小児が経験します(生涯免疫を獲得)。
- ・ 主な症状は嘔吐、下痢ですが、発熱を伴うことがノロウイルスと比べ多い傾向にあります。
- ・ 米のとぎ汁のような白色の下痢便が特徴です。
- ・ 時に、老人ホーム、福祉施設などの成人でも集団発生がみられることがあります。

(感染経路と注意点) 患者の便中のウイルスがなんらかの形で、他のヒトの口に入って感染します。症状が治まってもおおよそ1週間程度は便中にウイルスがいますので、兄弟での入浴、バスタオルの共有は避けてください。

(予防)

- ・ 現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。
- ・ 日頃から、食事前やトイレの後には、石鹸を使ってしっかり手を洗ってください。
- ・ ウイルスは環境中でも安定なので汚染された水や食物を介しても感染します。ドアノブ、手すり、玩具などの殺菌には、市販の塩素系漂白剤(通常は5%程度)なら50倍から100倍に水道水で薄めて10分程度浸すと有効です。アルコールには殺菌効果は期待できません。
- ・ 調理器具、衣類、タオルなどは熱湯(85度以上)で1分以上の加熱が有効です。

(感染症情報センター 記)